

藤間秋男の

お元気さまです。

●今月の経営テーマ “お客様に喜ばれる仕事をしよう!”

新たな気持ちで仕事に取り組むことで次のようなメリットがあります。

- ①「ありがとう」をたくさんいただけます
- ②仕事が楽しくなります
- ③おもてなしの気持ちが強くなります
- ④自社のファンを増やすことができます
- ⑤お客様にとって、なくてはならない会社になります



株式会社 日本経済新聞社「経済と経営」カレンダより

(1) ニューヨーク マラソン 完走 (42.195km) してきました。
 11月3日(日)に、フルマラソン完歩してきました。(妻と一緒に)
 昨年まで、本ハルマラソンを5年連続完歩し、今年は、
 ニューヨークマラソンを7時間半で完歩してきました。
 ニューヨークマラソンは、世界最大の参加人数が4万人
 と言われ、スタテニ島の米軍基地からスタートし橋をいくつ
 を渡り、ブルックリン、クイーンズ、ブロンクス、(11-14)
 マニハッタンを渡りセントラルパークがゴールとなり
 ます。ほとんどの観光地を通り、観光ツアーをしては
 いるマラソンコースです。最高でした。
 来年も参加してみたいです。一緒に参加しませんか?
 あとは、ミュージカルやライブハウスをまわりました。
 すごく楽しかったです。

(2) 今日の上昇者と明日の後継者育成を比べたとき
 後継者育成を取らなければならぬ(森田 洵彦 日本マカド社社長)
 後継者育成は、マネジヤルの中核トコアの命題です。
 世界レベルの企業では、経営者は、3年〜後継者に引き継ぐ
 くらい、意識を持って任事をしている。
 経営者には、大きく分けて、2つのタイプが別れる。1つは、おぼろげに
 自分がかかる経営者。もう1つは、人材を適切適所に配置し、
 ベストな任事を人にかけてもらう経営者。企業が継続的に
 成長していくためには、後継者でなくてはなりません。
 実際には、2つをミックスして、経営を進めなければならない。

現実です。トコアをどうにかやりやると指示が行
 人間と存続します。
 これは、社長に限らず、役員や部長も同じで、その管理職
 格、「3年以内の自分の任事を引き継げる人」を育てると、KPI
 ゴールを掲げたいです。
 継続的な戦略を立案実行していくためには「タレント
 パフォーマンス」が不可欠です。これは、社長、執行役員、
 部長、課長とすべてのポジションで、後継者を常に
 育てていくことで、人材がシームレス(継ぎ目なく)つるがて
 らることか大切なのです。(雑誌 THE21より)

(3) トコアが、暗い社会を明るくする。明
 明は、経営者、幹部社員、2人全員の「しんが」日暮
 こと、明るく振る舞う。(伊藤忠商事副会長 小林宗三)
 2015年

(4) 世界を変える、日本の突破力の革新者 (イノベーター)
 は二人存人。(日経ゼミナール 2013.11.11号)

- ① チームを鼓舞する力 → 「エナジイター」 活力を与えることで
 周囲のやる気を引き出し革新をリード
- ② 組み合わせで革新する力 → 「イノベーター」 組合で
 既存の技術やノウハウを組み合わせで革新を生み出す人。
- ③ ゴールを設定する力 → 「ビジュアリー」 目標を設定する力。
- ④ 社会を変える力 → 「イノベーター」 社会の革新者
- ⑤ あきらめる心 → 「インガバー・ポール」
 失敗してもあきらめず挑戦し続ける人。
 日経ゼミナールは 2013年「日本のイノベーター大賞」に
 LINE社長の 森川 亮 (A)を選んだ。

(5) 何のために働くのか。(SBZホールディングス 北尾吉樹)

- ① 「働く」とは人間性を高め、人格を高める。
 働くことは人間を磨くこと、魂を磨くことだ。
- ② 「仕事」は修行の場と思えば、仕事ができるようになる。人間とは一流になるという心で働く。

